

江戸後期、愛知川宿で花開いた芭蕉俳諧の世界

愛荘町町制20周年記念／ハーティーセンター秦荘開館30年記念

愛荘むら芝居

出演：愛荘むら芝居一座
脚色・演出：中村節子

愛知川宿 蝸牛庵

えちがわしゆく かぎゅうあん

日本語字幕あり

令和7年 9月7日 日 14:00 開演
(13:30 開場)

入場料:500円 全席指定 チケット発売:5月10日(土)

ガ
ブ
レ
イ

ハーティーセンター秦荘、愛知川公民館、るーぶる愛知川（愛知川駅）、
びわ湖ホールチケットセンター（現金・窓口販売）、
びわ湖芸術文化財団インターネットチケット（<https://biwako-arts.or.jp/rd/>）

問
合
せ

愛荘町立ハーティーセンター秦荘 ☎ 0749-37-4110
FAX:0749-37-4113 URL:<https://www.heartycenter.jp/> E-mail:info@heartycenter.jp

主催 | (公財) びわ湖芸術文化財団
(一社) 愛荘町文化協会〈ハーティーセンター秦荘指定管理者〉

後援 | 愛荘町、愛荘町教育委員会



第54回滋賀県芸術文化祭参加事業 滋賀県アートコラボレーション事業
※この事業は(公財)びわ湖芸術文化財団と(一社)愛荘町文化協会が協働して実施しています。

ハーティーセンター秦荘オフィシャルスポンサー

滋賀建機株式会社 中島商事株式会社

ハーティーセンター秦荘オフィシャルサポーター

(有)宮川石油 いとし工務店 (有)高橋プロパン
(株)シガコアレス 近江印刷(株) 個別指導さくら
カナリヤ楽器(有) CRUISE

愛知川宿 蝸牛庵

時は江戸時代後期、安永から寛政の頃(1772~1800)、松尾芭蕉(1644~1694)が亡くなっておよそ90年が過ぎ、低迷していた俳文芸を芭蕉の到達した高みに戻そうとする「蕉風復興運動」と呼ばれる運動が湧き上がっていた。近江は都に近い地の利によって、文物と文人たちの往来は繁く、早くから経済的、文化的に恵まれた地となっていた。生業のかたわら和歌や詩文に親しみ、茶や生け花などの風雅の道に目覚めた人も多く、中でも俳諧は江戸時代を通し近江路全域で盛んであった。当時、愛知川宿に西澤里秋という俳人がいた。里秋は通称を西澤庄左衛門といい、愛知川宿の本陣の道向かいに住まいし、宿の伝馬役(てんまやく)・歩行役(かちやく)を勤めていた。里秋の母方の祖父は森野治天(もりのやてん)といい、彼は近江蕉門(芭蕉俳諧)の森川許六(もりかわきよりく)を師とし、彦根蕉門の発展に尽くした人である。里秋は祖父からの影響で、若くから俳諧に親しむようになった。芭蕉一許六一治天という彦根蕉門の流れを愛知川宿で花を咲かせたのが里秋らの俳人であった。

登場人物・キャスト



森野 昭二
(里秋)



三浦 勝治
(芦水)



廣田 道雄
(仮興)



森 真紀
(七衛門)



川平 貢永
(西澤彦左衛門)



佐々木 洋子
(タキ)



伊谷 孝子
(伊乃)



久山 幸代
(りう)



中村 瑠花
(夏)



大塚 和子
(シマ)



野村 紗代子
(クニ)



村田 宏樹
(弥助)



林 定信
(蝶夢)



伊谷 正昭
(馬瓢)



大橋 政則
(呉琴)



谷川 啓
(師由)



松本 幹夫
(一笑)



松本 治男
(移鏡)



種村 長年
(塘里)



藤田 要一
(引牛)



福永 和明
(徒遊)

アクセス



愛荘町立ハーティーセンター秦荘

[住所] 〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子822番地

[電話] 0749-37-4110 [ファックス] 0749-37-4113

[URL] <https://heartycenter.jp/> [E-mail] info@heartycenter.jp

-車でお越しの場合-

名神高速道路 湖東三山SIC(ETC専用)から国道307号線を左折(約200m)、上蚊野交差点を右折し4つ目の信号左折す。

-JRでお越しの場合-

JR稲枝駅ほか愛荘町内外の停留所から「愛のリタクシー」なら、400円でお越しいただけます。

ご乗車の1時間前までに近江タクシー(0749-22-1111)へお電話ください。